

おはようございます。寒いですね。でも、今日から2月になりました。寒い寒いと言っている間に、3月になり、4月になってみんな一つずつ進級して、6年生は卒業の日を迎えますよ。最後の詰め時期です。しっかりしていきましょう。

さて、先日給食集会が行われました。その中で、広瀬先生が昔の給食のこともお話されてましたね。校長先生は、給食のことについて、こんなことを言いました。

アジア、アフリカの恵まれない国の子どもたちを学校に通わせるために、まず何を考えたか・・・？そう、学校に行けばお昼ご飯を食べられる、つまり給食を提供すれば、親も行きなさいと言う。そのことで、子どもたちが教育を受けることができるようになるとうことです。

校長先生は、疑問に思いました。そんなアジアアフリカの恵まれない子どもたちが学校に行かないとしたら、昼間はいったい何をしているのだろうか・・・。

良いですか、スクリーンを見てください。

これは、バングラデシュという国で、レンガを粉々にしている工場働いている親子の写真です。

お父さんお母さんの収入だけでは家族が食べていけない、親が病気で働けない。そうなれば、たとえ5歳の子どもでも、何かしらの仕事をしてお金を稼がなければなりません。

だから学校に行くことをあきらめ、働くのです。バングラデシュの気候は、とても暑くこの写真の日は40度をこえていたそうです。こんな中で、12時間働いていくらもらったか？想像してみましょう。

今年のお正月に、お年玉をもらいましたね。いくらくらいもらいましたか？

.....

すごいですね。実は、この子がもらった金額は日本の円にして40円だそうです。

実は、世界中で学校に通えない子どもたちは7200万人いるそうです。多くは学校へ通わずに働きに出ることになってしまいます。

どうですか。昼間何をしているのだろうかと思いましたが、こんなきついところで働いていたのです。

そこで、そんな生活を改善させようと、いろんな人がいろんな方法で手助けしました。その一つが、学校で給食を提供して、子どもたちが食べられるようにして、そしてそこで勉強を教えていったそうです。

教育の力はたいしたもので、少しずつ環境も改善していき、子どもたちも学力を身に付けていき、少しだけですが暮らしも豊かになりつつあるということです。

でも、それもごく一部であって、まだまだ写真のように厳しいめに遭っている子どもたちはたくさんいるそうです。

さあどうですか？みなさんは恵まれていると思いませんか？

○色々理由を考えて宿題をサボろうとしている君、それでいいですか？

○あれを買ってほしい、これを買ってほしいと言っている君、それを買うためにどれだけ働かなければならないかを考えたことがありますか？

○好き嫌いをしている君、泥水しか飲むものがない時、どうしますか。あのとき食べておけばよかったと きっと思いますよ。

○授業中によそ見をして、勉強に参加していない君、学校で勉強できることがどんなに幸せであるか、分かっていますか？

これでお話を終わります。